

総合教育センターだより

平成15年3月11日発行 第86号

熱く語る 研究の結果 第17回秋田県教育研究発表会

去る2月13日、14日に総合教育センターで教育研究発表会が開催され、盛会のうちに終わりました。発表や参加の状況は次のとおりでした。

■総参加者数：985名 (発表内訳)	■発表数：104点
・教育奨励賞受賞者……………5	・内地留学生……………7
・一般応募・奨励賞応募者……………39	・チャレンジ研修参加者……………4
・総合教育センター研修部等……………9	・総合教育センター研修員……………40



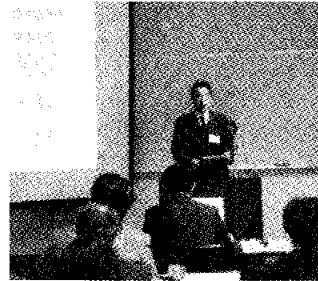
教育研究奨励賞授賞式：太田教育委員長から表彰される
男鹿南中学区小・中学校



総合教育センター指導主事による所員研究「L.D・
ADHD児等への支援の在り方」の発表



記念講演「農と食と医と」
講師 筑波大学農林系教授
佐藤 常雄氏



各会場における発表者や参加者
〈どの会場にも熱心に聴く姿、質問や感想を述べる姿がありました。発表者のプレゼンテーションも工夫があり、発表を分かりやすくしていました。〉



研修員の1年

教職研修部 部長 松村 洋

当総合教育センターには、各学校に籍を置きながら、1年間自己研鑽に努めている、いわゆる「研修員」の先生が40名います。研修員制度へのご理解を期待しながら、ここでは、研修員の研修概容を紹介します。

まず、県教育研究発表会での研究発表に向けた研修が挙げられます。研究領域は、各自に割り当てられていますが、5月上旬に研究テーマを決め、年4回ほどの部内発表会や年明けの所内発表会を経て、本番に臨んでいます。研修の成果は、「研修員研究集録」を通して、県内の教育関係者に広めるように努めています。

次に挙げられる研修は、C講座（年間10講座以上）や公開講演及び特別講座（それぞれ年5回程度）の受講研修です。受講後に提出する「受講等報告書」もかなりの数に達しますが、「教師には、専門性を高めることや、豊かな人間性が求められることを再認識した」など、多くの成果が寄せられています。

さらに、実践的指導力の向上を主眼に置いた、年2回の模擬授業研修もあります。全員が、免許取得教科等の授業を行っています。授業後の協議会は、忌憚のない意見の交換の場となっています。

最後の紹介は、幅広い教養を養うための読書研修です。推薦図書等、20冊程度を読んでいます。

この他、研修員はさまざまな研修に努め、その成果にも目を見張らせるものがあります。殊に、これまでパソコンに触れたことがない研修員が、発表会でプレゼンテーションソフトを駆使する姿には、驚かされます。